

# 山口県海外ビジネスサポートデスク 通信



## 【サポートデスクメニュー】

□海外展開に関する相談 □各種調査・情報提供 □セミナー開催 □販路開拓・商談サポート支援 □展示会出展支援

## 個別相談をお受けしております！

中小企業の皆様、海外展開に関するお悩みがございましたら、ぜひお気軽にサポートデスクまでご相談ください。現地の情報提供から販路先の開拓など、幅広いサポートメニューをご用意しています。

## 今月のデスク活動



### ■ SEMICON Taiwan 2024 国際半導体展

**SEMICON®  
TAIWAN**

半導体の国際見本市「SEMICON Taiwan 2024」が4日、台北南港展示センターホール1&2（TaiNEX 1&2）で開催しました。

SEMICON Taiwan 2024 今年「Breaking Limits : Powering the AI Era」をテーマに、半導体産業が未来の競争で勝利するための重要要素である技術革新と持続可能性に焦点を当てました。

今年の展示会には、56 か国から 85,000 人以上の国内外業界の専門家が訪れ、1,100 社以上の企業が 3,700 ブース以上※1 を出展しました。

※1 データ出所：SEMI Taiwan ホームページ



卓榮泰行政院長が開幕セレモニーに出席した。（行政院サイトより）



## 山口県ブース 5社共同出展しました

企業名	所在地	出展内容
株式会社アクシス	下関市	半導体製造装置の関連部品
協和機工株式会社	山口市	半導体製造装置のメンテナンス
株式会社テクノウェル	光市	半導体製造装置の特殊ガス配管、特殊ガス・薬液供給ユニットシステム、漏液センサー
株式会社ひびき精機	下関市	半導体製造装置の関連部品
株式会社ミヤハラ	周南市	半導体製造装置の関連部品

事前マッチングでは台湾企業 23 社と 25 の商談が行われ、会期中には 240 社以上の現地企業との名刺交換が行われました。



## 台湾の現地企業訪問・見学を行いました！

### 訪問先：迅得機械股份有限公司

・企業及び事業概要：資本金 7 億 5000 万元をもつ上場企業。

セラミック基板、電子組立、LED、IC パッケージング・テスト、半導体など、複数の産業における自動化市場をリードし、中国と台湾に複数の工場を展開しています。最新のデジタル製造技術とインダストリー4.0 に対応するスマートファクトリー構築に注力されています。

・訪問日：2024 年 9 月 3 日

・山口県、(公財)やまぐち産業振興財団の関係者、及び山口県内 SEMICON Taiwan2024 出展企業 5 社より企業訪問及び見学をしました。直接意見交換も行っており、非常に有意義な時間になりました。

## ■ 食品分野

シンガポールで開催される見本市「フード&ホテル・アジア HoReCa 2024」へ出展します！

展示会：フード&ホテル・アジア HoReCa 2024

会期：令和6年10月22日(火)～25日(金)

出展企業：4社

企業名	所在地	出展内容
株式会社高田（タカダコーヒー）	下関市	コーヒーリキュール、コーヒー豆、コーヒーバッグ、グッズ
株式会社 Fu	下関市	フグ刺身、フグ白子、フグミガキ
有限会社アグリプラン	美称市	ジャム、ピネガー、パプリカ調味料
株式会社万人舎（ジェラテリアクラキチ）	周南市	ジェラート

※出展各社の商流構築を目的に、事前マッチングも行います。

### お気軽にご相談ください！

海外展開の第一歩、どこから始めますか？「海外での販路開拓、何から手を付けたいのか…」とお悩みの企業様も多いかと思います。そんな時こそ、私たちにご相談ください。些細なことでも構いません。まずは一緒に一歩を踏み出してみましょ

う！  
(文責：株式会社日本アシスト 張)

## 現地からお届け！ 最旬情報 -台湾編-

現地の生の情報がリアルタイムでお伝えしていきます！

毎月各国(地域)の「旬」な情報を現地からお届けいたします！第5回も台湾デスクよりお届け。

台湾の政治・経済における TOPICS、市場トレンド等から、日本企業のビジネスチャンスに迫ります！

### 台湾概況

台湾では2024年5月に民進党の頼清徳総統が誕生、駐米台湾代表処（大使館に相当）代表経験もあり対米・対外関係で豊富な経験とネットワークをもつ副総統蕭美琴氏と共に新政権をスタートさせました。経済面では蔡総統の政策を引き継ぎ「六大核心戦略産業」※1を育成していく方針を掲げています。しかし、総統選挙と同時期に行われた立法議員選挙では民進党の獲得議席は51と過半数の57に満たず、野党である国民党と民衆党が併せて過半数の議席を確保するねじれ状態となったことで、政策の推進力には心配の声もかかれています。

経済状況については行政院主計総処（統計局などに相当）が今年7月に発表した4-6月の域内総生産（GDP）によると前年同期比で5.09%増えており、予想を上回る成長を遂げています。半導体など、人工知能（AI）関連テクノロジーに対する世界的な需要が主な要因で、今後も一定の堅調さを保つとの見解がもたれています。9月17日に来日した台湾国家発展委員会の劉鏡清・主任委員（大臣に相当）は日本記者クラブでの会見で、台湾の半導体サプライチェーンの日本進出支援計画を年内に作成すると語り、日本への投資を更に増やすことを明らかにしました。経済部長の郭智輝氏も就任後の会見で、「境内外（優遇措置等の施策で台湾に世界の需要を呼び込む）」と「境外関内（海外に台湾の製造工場を設立する）」という2つのテーマを打ち出しており、日台の関係も強化されていくものと予測されます。

※1 ①情報・デジタル産業②情報セキュリティ産業 ③高精度医療産業④防衛・戦略産業、⑤グリーンエネルギー・再生可能エネルギー⑥民生・戦略物資産業

## 2025年の超高齢化社会突入と昨今の健康意識の高まり

台湾では日本以上の少子化の為、早いスピードで高齢化が進んでおり、国家発展委員会によると、2025年以降台湾は超高齢社会※2に突入するとの見解を示しています。これに伴って台湾では「銀髪族」と呼ばれるシルバー世代向けのビジネスの注目が高まっています。その中でも先行して超高齢化社会に突入している日本におけるシルバー世代向けビジネスには非常に高い関心が集まっています。また、シルバー世代以外でもコロナ禍以降の世界的な健康意識の高まりは台湾市場においても例外ではなく、食品業界では「ヘルシー」をテーマにした商品のニーズが高まっています。なかでも外食文化が発達し、自炊しない層も多い台湾では、同時に冷凍やレトルト等の「簡単調理」ができる食品への関心が高いです。更に、ベジタリアン人口の割合が多く、インドに次ぐベジタリアン大国と言われる台湾では、もともと「素食」と呼ばれるベジタリアン料理レストランが多いです。昨今開発されている植物由来食品も今後も大きなチャンスがあると言えるでしょう。

上記のトレンドを鑑みて、①ヘルスケア・介護ビジネス②健康食品・機能性食品、簡単調理や植物由来食品③リハビリ機器、運動機器④シルバー世代向けツーリズム⑤スマートデバイスやセキュリティ等のスマートホーム推進関連技術、等は日本企業のビジネスチャンスとして今後非常に注目できる分野かと思われます。

※2 国家発展委員会では総人口に占める65歳以上の割合が20%を上回る状態を超高齢社会と定義している。

## 整う宅配インフラとインターネットビジネス

今年5月、台湾の2大宅配事業者、ウーバーイーツとフードパンダが合併（ウーバーイーツがフードパンダを買収）、というニュースが発表されました。台湾では宅配のプラットフォームが非常に整っておりその上でのビジネスもしやすくなっています。例えばクラウドキッチン※3であるJUST KITCHEN として上場も経験しました。スイーツ等でも、小売店に卸したり、台北等の都市部に実店舗を構えてスタートする、という方法をとらずに台湾の地方で起業をし、ネットだけで展開、予約販売をし人気ブランドに成長させていく、という形態も増えています。

このようにインターネット経由での販売割合が増えていることから、日本食品にもインターネット販売でのPRで重要な見た目のきれいさ（デザイン性）や商品のストーリー性を求める台湾バイヤーが増えてきているように感じます。商談代行の際にも、「商品紹介・PRの為に動画データはありますか？」等と聞かれることが増えてきました。

※3 イートインスペースを伴う実店舗を持たず、飲食ブランドを作り宅配専門で販売する形態のビジネス

## 最後に

以上、簡単ではありますが台湾概況と市場のトレンドについて執筆させて頂きました。私のビジネスとしては日本の主に食品をメインとして現地の商社やバイヤーにセールス代行をする機会が多いのですが、実際にバイヤーとの日々のやり取りの中でも、やはりシルバー世代向け商品や健康を意識した商品、半調理品等へのニーズは高まっていると感じ、日本商品への期待も大きいと感じています。そこでは新しく開発された商品だけではなく、古くからある日本の発酵食品等も切り口を今の需要にあわせて営業することでチャンスはある気がしています。ただ親日であるが故に、日本商品の提案も多く競争も激しい為、「日本商品だからなんでもよい」というわけではなく、しっかり差別化ポイントがないと厳しいです。あといつも感じているのですが「賞味期限」の壁が高い、、、今ある商品が海外でも売れたらいいな、という発想から、手間はかかってしまうのですが海外向けに商品を設計、開発するというチャレンジが、近い未来に大きな活路を生み出す、そういう転機にさしかかっていると感じています。

台湾の高齢化比率の将来予想



ウーバーイーツ、フードパンダの台湾事業を買収  
へ＝台湾の料理宅配代行上位2社



出所：左より弊社提供、中時新聞網（コンビニで半調理品が買える FamiSuper の紹介）、CNA（2 大宅配巨頭の合併）、日本台湾交流協会・NRI

（文責：桔想國際有限公司 運営總監 COO 網本友加）